



•クリスタルインレイ

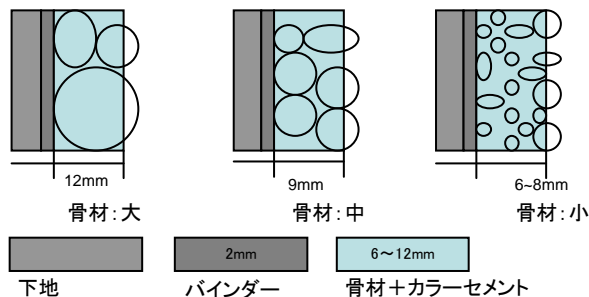
当商品は色とりどりのリサイクルガラスを始め、翡翠(ヒスイ)や瑪瑙(メノウ)等の天然鉱物とカラーセメント、下塗り材(以下バインダー)がパッケージングされた状態で缶に収納された新しい左官材です。

色彩鮮やかな瑠璃ガラスや天然鉱物と、それらにマッチしたカラーセメントによって、今までにはない洗出しの表現が可能になり、従来の洗出しでの問題点であった施工時間の短縮や汚水の軽減も実現いたしました。セメントベースで強度と接着性に優れたクリスタルインレイは床と壁両方にお使い頂けます。

•パッケージ概要

サイズ(缶)	商品重量(骨材+カラーセメント)	下塗り材重量(バインダー)	総重量
M缶	12.0 Kgs.	2.0 Kgs.	14.0 Kgs.
L缶	25.0 Kgs.	4.0 Kgs.	29.0 Kgs.

•参考塗り厚



•参考施工面積

	商品塗り厚(骨材+カラーセメント)	M缶(14.0Kgs.)	L缶(29.0Kgs.)
骨材 大	12mm	0.4M ²	0.85M ²
骨材 中	9mm	0.5M ²	1.3M ²
骨材 小	6~8mm	0.6~0.9M ²	1.3~1.8M ²

*上記塗り厚は標準を示したもので、±1mm程度の誤差があります。

*上記施工面積は標準塗り厚で施工した場合の参考数値ですので実際の塗り厚によって施工面積は変化いたします。

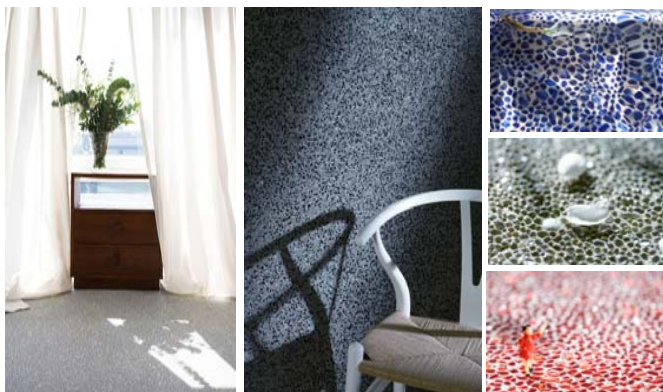
•施工手順

施工前に用意していただくもの

- 金ゴテ
- 刷毛
- スポンジ
- 台秤
- 下げ缶
- 練り缶
- ハンドミキサー等

施工前の準備

1. 左官が可能な下地かどうかを確認して下さい。汚れやほこりの有無を始め、凸凹やタワミ、動いてしまうなどは施工不良の原因となります。又、高圧洗浄やブラシのけれん、補修工事等を行った場合は乾燥状態を確認後、作業を始めて下さい。
2. 施工取り合いや排水口、コンセント等、セメントの付着が心配される箇所はマスキングテープ等で予め保護して下さい。
3. コーナーには定木、目地棒などの施工をしておいて下さい。
4. 壁面の下地のつなぎ目は割れの原因となりますので、寒冷紗+パテ等が施してあることを確認して下さい。
5. 下地が激しく乾燥している場合や熱を持っている場合はドライアウトの原因になりますので、スプレー等でウェットな状態にして下さい(但し水が溜まらないように注意して下さい)。又、下地の材質に合わせて調整剤を予め塗布して下さい。
6. 気温、湿度、下地の状況により硬化時間が変化しますので、作業前にテスト施工をお勧めいたします。



輸入販売元



松下産業株式会社

特販室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-2-12

TEL : 03-3363-8402 FAX : 03-3363-8420



施工方法

1. 缶に収納された材料の確認をし、バインダーを別の容器に取り出して下さい。
2. バインダーを適量の水で攪拌していきます(撥水剤しておりますのでなじむので多少時間がかかります)。水の入れすぎに注意してください。
3. 骨材とカラーセメントを適量の水で攪拌していきます。ハンドミキサー等を使用し、骨材が均一に混ざるよう攪拌してください。よく混ざった事を確認した後、2分程度養生します。

	バインダー		骨材+カラーセメント	
	重量	水重量	重量	水重量
M缶(14.0Kgs.)	2Kgs.	0.5~0.55Kgs.	12Kgs.	1.10~1.30Kgs.
L缶(29.0Kgs.)	4Kgs.	1.0~1.10Kgs.	25Kgs.	2.30~2.70Kgs.

4. バインダーから施工していきます。塗り厚は2mm程度で均等に平滑に施します。
5. バインダーが完全に硬化してしまう前(目安15分程度)に骨材とカラーセメントを攪拌し施工します。均等に平滑に施工して下さい。骨材が均等に広がる様一定の圧力をかけながら塗っていくのがポイントです。
6. 表面が少し乾き、縮まってきたところでコテで骨材を押さええます。抜けたところや出っ張っているところを平滑にして安定させていく際、強く押ししたり、こすったりすると骨材が転がってしまい施工不良の原因となりますのでご注意下さい。
7. セメントが完全に硬化する前、且つ指で軽く触ってみて種石が動かない事を確認しスポンジで水拭きを始めます。(目安15分~1時間程度)スポンジはかた紋りにし常に綺麗なものを使用して下さい。表面を撫でる様に拭き取り、セメントの拭き残しがないようにして下さい。(これを数回繰り返します)
8. 施工後、半日~1日の養生を目安に乾燥させて下さい。
9. 表面が綺麗なことを確認し、汚れ防止の為の撥水剤等の保護剤を塗布する事をお勧めします。

*目安の時間はあくまでも指標です。天候、気温、湿度によって変わります。

•注意事項

1. 凍結・凍害の恐れのある場合は施工を避けて下さい。施工完了までに氷点下になる可能性がある場合、養生の時間を含め暖房等の熱管理が必要になります。
2. 大きな面への施工の場合、クラックや亀裂防止の為に目地を必ず入れて下さい。下地や施工条件によってピッチを検討して下さい。
3. 勾配が2%を超える床面への施工は避けて下さい。
4. エクspansion等の動く可能性がある箇所への施工は避けて下さい。
5. 施工は専門の会社が行うことをお勧めします。